

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	その他のサービス [レンタカー] (営業担当)	来客数の動き	・前年に比べて、県外観光客予約状況が好調に推移している。今月の台風4号の影響でかなりのキャンセルが出たが、それでも対前年105%という数字になる。
	やや良くなっている	観光型ホテル (商品企画担当)	単価の動き	・夏場のピークシーズンにおける単価が上昇している。
		観光型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・今月は2年ぶりの台風の直撃でかなりのキャンセルがあったにもかかわらず、売上予算はどうかクリアできそうである。
	変わらない	百貨店 (担当者)	販売量の動き	・前月の「会員様先行クリアランス」から、好調に推移している。衣料のクリアランス動向が良く、月中まで全館で前年同月比で3%伸長している。3年ぶりの台風直撃の影響があり5%減少したが、台風以降は回復し売上は好調である。特に台風以降は秋物動向が良く、フロアにおいては構成比の60%を占めるまでに拡大し、全館をけん引している。またお中元ギフトの動向も活発で、月末までに計画を10%上回る見込みである。
		コンビニ (エリア担当)	販売量の動き	・売上は前年並みで推移しているものの、主力の米飯・ドリンクの売上は前年割れであり、夏場が終わってもこの傾向は続く。弁当にしてもヒット商品が出ない。主力商品の販売低下は減益となり、店舗の体力も落ちる。
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・来客数が前年比で3、4%程減少している。この数か月、同じ傾向が続いている。
		通信会社 (店長)	販売量の動き	・購入を即決する客が多い。
	やや悪くなっている	観光名所 (職員)	来客数の動き	・施設利用者は、3か月前の平成19年4月は前年同月比で108.3%である。今月は7月25日現在で107.2%と若干低い伸びとなっている。ただ7月13日に上陸した台風による影響を考慮すると、沖縄観光は順調に推移している。来園者は、家族連れ、カップル等が中心である。
		一般小売店 [衣料品・雑貨] (経営者)	販売量の動き	・7月の中旬が前年同月比で75%に落ち込んだため、7月全体では85%と落ち込んでいる。要因は来店者数と客単価が両方減少していることである。限定販売などの魅力ある商品開発が求められている。
		その他専門店 [楽器] (経営者)	販売量の動き	・今月は選挙と台風の影響で、売上が前年に比べて15%程度は減少している。
高級レストラン (営業担当)		販売量の動き	・観光入域、観光収入を考えても下向きなのは疑問である。店のハードの影響が出てきている、客の目が肥えてきている (リピーター率は約7割である) 可能性がある。常に新しいモノを提供していかなければならない。	
悪くなっている	その他飲食 [居酒屋] (経営者)	来客数の動き	・7月は繁忙期に入るが、例年に比べ来客数が20%減少している。ガソリンの値上げ、野菜の高騰で地元客、特に女性が外食しなくなっている。	
	商店街 (代表者)	競争相手の様子	・中心商店街は、現在空き店舗が多い。また空き店舗に入店しても土産品店が多く、共倒れで客割れの状況が起こっている。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	会計事務所 (所長)	受注量や販売量の動き	・観光関連では、前年より来客数が増加している。
	変わらない	輸送業 (営業・運営担当)	受注量や販売量の動き	・家電製品 (エアコン) の入荷・出荷量が増え、売上は増大したものの燃料費の高騰がその分を圧迫、結果的に変わらない状況になっている。
		コピーサービス業 (代表者)	受注量や販売量の動き	・最近の市場は想像以上の厳しい。そうなる第一の理由は、県市町村の財政難である。今後はますます厳しくなる。

	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	学校〔大学〕 （就職担当）	求人数の動き	・県内に進出している県外企業の採用活動が活発化している。また、県内企業の内々定も昨年に比べて早くなっている。さらに、県知事のグッドジョブキャンペーンで経済界の動きが活発化しており、これが今後の採用拡大につながる。最後に、観光入域者数1,000万人運動を受け、観光関連業界の採用が活発化している。
	変わらない	人材派遣会社 （経営者）	求人数の動き	・派遣依頼は相変わらず続いているが、この2、3か月では伸びが少なくなっている。
		求人情報誌製作 会社（営業担 当）	求職者数の動き	・求職者の応募自体は減っている。
		学校〔専門学 校〕（就職担 当）	求人数の動き	・これまで求人数は順調に推移してきたが、今月に入り一段落した感じである。また、求人時期の前倒し傾向が強いなか、以前に求人を頂いた企業からの2次、3次募集の呼びかけもあり、新規求人は落ち着いている。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・2007年6月は月間有効求人数が3か月前より15.9%減少して7,479人であるが、一方で前年6月は、その3か月前より12.9%減少して9,844人である。なお、新規求人倍率、有効求人倍率は2007年6月がそれぞれ0.77倍と0.43倍、前年6月は0.88倍と0.53倍である。
	悪くなっている	-	-	-